

2021年4月 日本初 経営ビジネスの専門職を目指す学科が誕生



経営専門職の
動画はこちら

2021年4月より名古屋産業大学現代ビジネス学部「経営専門職学科」を開設し、
新入生が入学しました。

大学の学科として、専門職大学の制度を活用した設立は本学が初。

「経営」の名称の専門職大学・学科は本学が初。

激変する社会環境の中で、将来の日本の変革の担い手となる経営分野の専門人材としての活躍が期待されます。

経営専門職学科は、社会・時代の変化や産業界のニーズを反映し、デジタルデータに関連する知識・技能・技術と、事業創造ができるための経営に関連する知識を、産業界の企業との連携や、実務家教員が中心となり実践と理論を繰り返し学ぶことでこれからの時代に通用する経営分野の実践的で専門的な技術・技能を身につける点に特徴があります。

新しい門出となりますが、経営専門職学科の特徴を理解し、

「自ら起業する」「事業承継・後継者として活躍する」「地域企業に入社し経営者のミギウデ」「経営コンサルタント」として活躍したいなどの明確な目的を持ってキラキラした入学者と一緒に、日本初から日本一へ、新たな歴史を刻みます。

経営専門職学科長 矢野昌彦



未来の経営ビジネス

2021年4月、経営専門職学科の一期生として新入生が入学しました。新入生は、東海地域出身で、普通科に加え商業科や工業科などの出身の学生もいます！

「実践的なカリキュラムに魅力を感じる」

「将来起業したいので、その経験と知識を身につけたい」

「親の会社を継ぎたいと考え、ここで実践力を身につけたい」

「高校時代には商業系の勉強をしていたが、さらに実践的に学んで、将来の選択肢を増やして、活躍し経営者にもなりたい」

新たに新設したフューチャールームでディスカッションやグループワークも取り入れた実践的な授業を積み重ねて、成長していきます！



なぜ経営専門職が必要なのか？

企業経営の課題としては、「デジタル化への対応」「新規事業の創造」「後継者育成」などがあげられます。

地域の課題としては、地方創生に向けた新たな仕事を作るための「起業」や多様なプレイヤー同士の連携し、共創が求められています。

このような環境の中で、未来を見据えた社会ビジネスデザイン能力を若いうちから鍛え、未来の経営者や、事業創造の担い手や、経営コンサルタントを育てる必要があります。

新学科設立を記念して経営専門職としての実践教育の内容を記載した基本教科書をオリジナルで作成しました。これからの時代に求められる「経営専門職」という学問領域を確立するために、名古屋産業大学の経営専門職学科の教員も未来のビジネスデザインへ挑戦を続けます。

